うえだ UEDA

市議会だより

平成30年1月1日号　No.64

次回の定例会は
2月5日(月)
開会です。

議席番号順に並んで撮影しています。（前列中央が議長、左側が副議長、右側が監査委員）

市民の中の議会であり続けるために

～より開かれた議会を目指して～

議　長　土屋　陽一
副議長　小林　隆利

明けましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

新年に臨み、改めて昨年を振り返りますと、さまざまな出来事がございました。

国政におきましては、衆議院議員総選挙が行われ、野党再編を探る動きもある中、自由民主党及び公明党が引き続き連立して政権を担うこととなりました。これまで、政府・与党として景気は緩やかな回復基調を維持していると判断されておりますが、地方経済にとりましては、まだまだ厳しい状況にあるものと捉えております。地方におきましても景気回復を実感できる効果的な国の政策を今後も期待するとともに、上田市議会といたしましてもさらなる地域の活性化、地方創生に向けた取り組みを後押ししてまいります。

また、市民の皆様にとって身近で開かれた議会を目指す「議会報告会」は、昨年で7回目を数えました。毎回有意義な意見交換が重ねられ、大変多くの貴重なご意見を頂戴しております。皆様から出された意見や課題を踏まえる中で、政策立案や政策提言を実行する議会を目指し、引き続き議会からの積極的な情報発信と市民の皆様との意見交換、対話の促進に努めてまいります。

さて、本年は選挙の年であります。選挙権年齢が満十八歳以上に引き下げられてから、初めての市長選挙及び市議会議員選挙となります。若い世代にもわかりやすく、関心を持ってもらえるよう、これまで以上に親しみやすい市政及び議会運営が求められています。

上田市議会といたしましては、今後も市民代表であるというその役割と責任の重さをしっかり自覚し、より一層開かれた議会運営と上田市の発展に向け、議員一同全力を尽くしてまいる所存でありますのでよろしくお願いいたします。

結びに当たり、市民の皆様にとりまして本年が幸多き年となりますようお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

第７回議会報告会を開催

～参加者と活発な意見交換～

議員が各会場に出向き、市議会の活動について説明、報告するとともに、市民の皆さんの声をお聞きする議会報告会を昨年10月に市内の６会場で開催しました。

本年度で７回目となる議会報告会は、それぞれの会場において、５つの常任委員会と議会運営委員会からの活動報告のあと、意見交換を行いました。（委員会の活動報告の一部は、４ページに掲載しています。）

また、本年度で３回目となるテーマ別車座集会は、昨年10月中旬から11月上旬までの期間に、常任委員会ごとに開催しました。これは、各常任委員会であらかじめテーマを設定し、グループ単位で参加者の皆さんと意見交換を行い理解を深めるというもので、これまで要望の多かった「もっと身近に議員と話がしてみたい」という声に応える形で実施しております。

今回の議会報告会及びテーマ別車座集会には、延べ394名の市民の皆さんに参加していただき、多くの貴重なご意見をお聞きすることができました。お出しいただいたご意見などの詳細については、今後のうえだ市議会だよりなどでお伝えする予定です。

報告会の意見交換で出された主な項目

- ○公立大学法人長野大学
- ○運賃低減バス
- ○資源循環型施設
- ○消防団員の支援、確保
- ○住民自治組織、地域課題
- ○空き家対策
- ○2019年ラグビーワールドカップ　キャンプ地誘致
- ○議会の活動、議員定数など

○テーマ別車座集会参加者数

開催日	担当委員会	テーマ	参加者数
10月15日(日)	広報広聴委員会	語ろう!20年後の上田の理想像	30名
10月18日(水)	厚生委員会	地域に広げよう子育ての輪パート2	9名
10月19日(木)	環境建設委員会	地域公共交通を考える ～武石地域から公共交通のあり方を探る～	18名
11月1日(水)	産業水道委員会	これからの６次産業化の可能性 ～ワイン用ぶどうの栽培からワインの製造・販売までの取組～	22名
11月2日(木)	総務文教委員会	未来の上田市を話し合う 議会の役割・議員のしごと	137名

○報告会会場別参加者数

開催日	実施会場	参加者数
10月16日(月)	上田創造館	49名
10月18日(水)	丸子ふれあいステーション	26名
10月20日(金)	真田中央公民館	23名
10月24日(火)	武石公民館	23名
10月26日(木)	西部公民館	40名
10月30日(月)	上田市役所	17名

～各常任委員会テーマ別車座集会を開催～

総務文教委員会

第五中学校の3年生と「未来の上田市を話し合う議会の役割・議員のしごと」と題し、公民の授業の一環として開催しました。初めに全体授業として各委員から生徒にクイズ形式で市と市議会の役割等の中から市議会議員の定数、市の予算、条例制定、請願審査等を説明しました。続けて委員が2名ずつ各クラスに入り、未来の上田市について話し合い、生徒からは、第五中学校の改築、大河ドラマ後の観光、なぜ議員になろうと思ったか等の質問がありました。今回の車座集会を通じ、主権者教育の役割を担うことができました。

産業水道委員会

「これからの6次産業化の可能性～ワイン用ぶどうの栽培からワインの製造・販売までの取組～」をテーマとして車座集会を開催しました。最初に、ワイン用ぶどうの栽培を行っている方から、これまでの経験や苦労したことなどについてお話をいただきました。その後、参加者と意見交換を行い、「千曲川ワインバレー構想にジビエも絡めて売り出していくべきである」とのご提案をいただくなど様々な角度からご意見をいただくことができました。今後の課題や可能性について、認識を深められる重要な機会となりました。

厚生委員会

昨年度に引き続き「地域に広げよう子育ての輪」をテーマに、子育て中の方や子育て支援に取り組まれている方と意見交換を行いました。障害を持つお子さんやその保護者への支援のあり方や、未満児保育の受け入れに関する問題等について活発な意見交換が行われ、ウェブサイト「うえだ家族」や広報による健診等の情報発信については、一定の評価がありました。テーマである、子育て支援の輪を地域に広げることについては、親同士のネットワーク化や身近な公民館を活用した支援活動など、貴重な提言をいただきました。

環境建設委員会

市では地域公共交通網形成計画を策定し、これからのまちづくりや観光と連携した交通ネットワークを構築するとしています。市内各地域で生活に欠かせない交通手段として住民主体の取り組みが行われる中、委員会では特に高齢者の交通事故や運転免許証返納なども課題と捉え、武石地域のデマンド交通を含む公共交通について意見交換するためテーマ別車座集会を実施しました。こうした地域の公共交通の利便性向上とコスト問題について活発な意見交換が行われました。今後、委員会としてさらに議論を深めてまいります。

広報広聴委員会

地元高校生を対象に「語ろう！20年後の上田の理想像」をテーマに、参加高校生23名が5つのグループに分かれ長野大学の学生達が司会進行役となり議論していただきました。地元愛あふれる建設的な地域振興策から、将来に対する真剣な要望、大胆な発想による行政提案などが議論された後、グループごとに内容を集約して発表しました。急激な変化を望まず自然を大切にしながら上田の特性を生かした地域創りを期待し、20年後成長した自分達が上田へ望んで帰りたくなるような街になってほしいとの要望をいただきました。

委員会の活動について～住みよいまちづくりを目指して～

上田市議会には、市の事務を効率的・専門的に審査するための４つの委員会と市民意見の集約、議会の活動内容を市民に提供すること及び市民意見の把握に関することを所管とする広報広聴委員会を合わせた５つの常任委員会と、議会運営を円滑に進めるための協議を行う議会運営委員会が設置されています。

議会報告会では、各委員会の活動概要について報告していますので、その内容の一部をご紹介します。

総務文教委員会

市の重要課題である自主財源の確保・公共施設のあり方について、売却等を検討している市有土地建物、上田市マルチメディア情報センターの現地調査、他自治体の公有財産の利活用、体育施設の適正管理等について視察しました。また、教育委員と体育施設等の管理や上田市総合教育会議について意見交換を行いました。さらに上田市建設業協会・上田市防災支援協会と行った懇談を踏まえ、市に対して公共工事等の一般競争入札制度の見直し等について提言を行いました。今後とも適正な市政運営のチェックと提言を行ってまいります。

産業水道委員会

5月31日に発生した降雹による農作物の被害は市内の広範囲に及び、深刻な被害となりました。委員会では、被害状況を確認するため、ＪＡ信州うえだにご協力いただき現地調査を行いました。現地調査で得た情報は、その後の委員会審査に生かしてまいりました。観光に関しては「真田丸」の放送による上田市の知名度の向上を生かした観光産業の振興に努めてきました。製造業に関しては、雇用の拡大が期待できる「箱畳第二期工業団地」の造成計画地の現地調査を行いました。今後も委員会として注視してまいります。

厚生委員会

地域医療については、信州上田医療センターを核とした地域医療体制づくりや、市立産婦人科病院が策定した新改革プランの検証を行いました。介護予防については、認知症初期集中支援チームの取り組みを注視するとともに、利用者の要介護度が改善した福祉施設へ支援事業を行っている他市の視察を行うなど、調査・研究を行いました。子育て支援では、子育て中の方や子育て支援に取り組まれている方との車座集会を行い、ニーズの把握に努めました。子ども・子育て支援事業計画の改正に向け、今後も調査・研究を進めます。

環境建設委員会

住民生活に深刻な影響を及ぼす空き家への適切な対応のため、上田市が策定の準備を進めている空き家等対策計画や条例化などの取り組みについて、これまでの先進地視察を生かし、委員会としてのチェック機能の充実に努めます。現在、実証運行中の運賃低減バスについては、効果を検証し今後の方針を検討する時期を迎えることから、視察した岡山県玉野市の先進事例や武石地域のデマンド交通をテーマに開催した車座集会での意見も参考にしながら、今後の公共交通のあり方をさらに調査研究し、政策提言してまいります。

広報広聴委員会

市民の皆さまとの大切な意見交換の機会としての「議会報告会及び車座集会」のさらなる改善について検討し、活動報告ではパワーポイントを活用して視覚的に訴えながら短時間で効率的な説明を実施しました。また、できるだけ多くの皆さまにご参加いただけるよう広報活動に注力し、開催チラシの市内全戸回覧や各種団体への参加依頼を強化しました。次に議会広報紙の改善について調査研究し、巻頭ページに地元高校生の想いや声の連載を開始し、より親しみやすく分かりやすい紙面を目指してさまざまな試みを実施しました。

議会運営委員会

議会運営委員会は地方自治法に基づき設置されている委員会であり、議会運営を円滑にするための協議、意見調整を行っています。また、議長から諮問を受けた事項に対して調査や審査を行うことも大切な役割であり、昨年は、決算審査のあり方を検討してほしいという要請に対し、9月定例会から「一般会計決算特別委員会」を設置して審査を行うことと致しました。これにより従来よりもさらに充実した決算審査が可能となりました。また、現在は議員同士による議論を深めるため、議員間討議の仕組み作りも進められています。

編集後記

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた新年を迎えられたことと拝察いたします。本年も健康で幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年、上田市においては、イタリアラグビー連盟とラグビーワールドカップの事前キャンプ地について合意を取り交わし、今後、国内外で上田をＰＲする契機として期待する一方、人口減少対策、移住・定住対策、製造業の停滞等多くの課題が山積しています。また、市役所新庁舎の改修・改築に伴う課所の一時移転等についての市民への周知と来庁者への安全確保が重要と思われます。

さて、市議会だよりも委員一人一人が研さんに努め、より分かりやすく、市民の皆さまに親しまれる広報紙づくりに努めてまいります。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

（原　栄一）

平成30年1月1日発行
発行：上田市議会
〒386-8601　上田市大手一丁目11番16号
TEL.0268(22)0452　FAX.0268(23)5136
E-mail：gikai@city.ueda.nagano.jp
編集：広報広聴委員会
委員長：松山賢太郎
副委員長：松井　幸夫
委　員：林　和明・山田　英喜
成瀬　拓・松尾　卓
小坂井二郎・金子　和夫
原　栄一
印刷：田口印刷株式会社

PRINTED WITH SOY INK